

## 平成 2 7 年度 津山市立喬松小学校

### 改善プラン「平成 2 7 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12 月末）

|             |  |   |  |
|-------------|--|---|--|
| 津山市<br>達成目標 | これまでの取組やたしかめテスト等から<br><b>【平成 28 年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み</b> | 国語 A B, 算数 A については全国平均と同値もしくは高い。<br>新聞のコラムなど長文を読み、その中から表現の工夫や筆者が伝えたいことなどを読み取り、書き出したり伝えたりすることができにくい。また「書くことに」に関する問題の正答率が全国平均よりもやや低い。<br>算数では A B ともに「量と測定」に関する問題の正答率が、全国平均よりも低い。今回は特に「20%増量した商品の内容量が480mlのとき、増量前の内容量を求める」問題の正答率が低い。<br>平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいことは分かっているがそのことを根拠にして二組の道のりが等しいことを記述して説明することができにくい。 |  |
|             | <b>学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）</b>                            | <b>進捗状況</b>   | <b>3 学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）</b>  |
|             | 「考えたい」「伝えたい」と児童が思う指導の工夫をする。                              | B   | 算数科を中心に「考えたい」「伝えたい」と児童が思う指導の工夫を行う。教職員全員が指導の工夫（活動と発問の工夫）ができたアンケート調査で答えられるようにする。                   |
|             | 各教科において自分の考えを書く時間の確保をする。                                 | C   | 『考えを書く』を意識した授業の割合を更に増やせるように引き続き教材研究などの時間を大切にして指導していく。「書くこと」に関する問題の正答率が全国平均を越えられるようにする。           |
|             | 聞く姿勢を重点的に指導していく。   | B   | 2 学期以降重点的に『聞く姿勢』について指導してきたが、各学年とも引き続き指導していく必要がある。全児童が発表する友達の方を向いて聞くことができるようにする。                  |
|             | 指名されたときの返事、友達の意見に対する反応がきちんとできるように指導する。                   | B   | 『返事』についても 2 学期以降重点的に指導してきた。成果が少しずつ表れ始めてきたばかりなので 3 学期も引き続き重点的に指導していく。8 割以上の児童が返事、反応がきちんとできるようにする。 |

進捗状況・・・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上 100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上 85%未満）」  
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上 70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上 50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」